



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎(752)0453 植田 進 ☎(487)9754
伊原 忠 ☎(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第258号
2016年3月7日
発行

日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5

3月8日から11日までの4日間、H28年度一般会計、公営企業会計予算審議が行われます。それに先だって、3月議会にH27年度補正予算案が提出され、3月3日、4日に開催された各常任委員会で審議が行われました。

3月補正予算で、約11億円の財源確保

今回の補正予算は、H27年度の最終的なものではありませんが、ほぼH27年度財政の大まかな特徴をあらわすものとなっています。歳入・歳出それぞれ1億6千万円の減額となっていますが、費目別に大きな変動が見受けられます。

まず、歳入では、市税で3億77百万円の増、地方消費税交付金で4億6千万円の増となり、その結果、財政調整基金からの繰り入れ8億78百万円を減額、つまり8億78百万円を取り崩さずに済んだということです。

一方、歳出では財政調整基金に2億44百万円を積み増し、合計11億22百万円もの財源が確保されています。この財源を、市民の暮らし・福祉に活用することが求められています。

とりわけ、保育園・学童保育所の待機児童が増え続け、保育園167名、学童保育所179名（H28年4月1日予測）と入りたくても入れない深刻な状況となっています。

日本共産党は、一刻も早く待機児童の解消をめざし、最優先の課題として市当局が取り組むよう全力を尽くします。

国民健康保険会計でも過大な見積もり

国民健康保険特別会計では、歳入・歳出それぞれ12億24百万円の減額となっています。

歳出の保険給付費で9億76百万円の減、後期高齢者支援金で1億33百万円の減、介護納付金で2億21百万円の減が主なものとなっています。

その一方、歳入では繰越金3億6千万円増の4億1千万円を確保しています。

H27年度当初予算で日本共産党は、「保険給付費が過大な見込みとなっているのでは」との指摘に対し、市当局は「過去の伸び率からみれば妥当」と述べていたが、10億円近い減額を見れば、過大な見積もりであり、それを理由に、国民健康保険料の大幅な引き上げが実施されたのです。



国保料が高すぎて、払いたくても払えない滞納世帯は約6000世帯（国保加入世帯全世帯の20%）にもなっています。いまこそ、国民健康保険料の引き下げを実施すべきです。

日本共産党は、国民健康保険料の引き下げに、全力でがんばります。

みなさんの、ご意見・ご要望をお寄せ下さい。